

令和 5 年 8 月 4 日

こども家庭審議会基本政策部会(第 6 回)  
意見書

松田茂樹 (中京大学)

「こどもまんなか」の実現に向けた EBPM (資料 1) について、以下のとおり意見を申し上げます。

EBPM は、今日わが国の政策全般において求められています。こども施策においても、施策立案段階から施策の効果の点検までの各段階において、EBPM に取り組むことが大切です。

このとき、こども施策 (こども・若者育成支援、少子化対策、こどもの貧困対策を含む) においては、何をエビデンスとするか (何を指標とするか、どのように測定するか、どのように分析するか) が十分定まっていないものが少なくありません。研究途上ともいえます。

このため、この分野の EBPM の推進にあたっては、こども・若者や子育て家庭等の視点および施策の実態を踏まえて、こども施策として何をエビデンスとすることが適切であるか、また、そのエビデンスをどのようにして調査・分析によってえていくか、ということからしっかり検討がなされていくことが大切であると思います。

以上